原料費調整制度に基づくガス料金の調整について(旭川地区) (2022年3月検針分)

旭川ガス株式会社 (小売登録番号:B0003)

当社では、本日確定した2021年10月から2021年12月の平均原料価格に基づき、2022年3月検針分のガス料金(単位料金)を、2022年2月検針分に比べ1㎡あたり6.87円(税込)上方に調整させていただくこととなりましたので、お知らせいたします。

これにより、標準家庭(1ヶ月あたり15㎡ご使用)への影響は、2022年2月検針分と比較して、103円の引き上げとなります。

原料価格の大幅な上昇によるお客さまへの影響を避ける為、平均原料価格が上限値80,240円を超えた場合は、それ以上の単位料金の引き上げは行いません。2022年3月検針分は平均原料価格が80,860円となり、上限値を超えた為、平均原料価格を上限値の80,240円として、調整額を算出しています。

〇一般契約料金 (消費税込)

0 137771	り カスグボディエ (打笑 がた)					
	使用量区分	基本料金 (円/月)	単位料金(円/㎡)		影響額	
	区加重巨力		3月	2月	(円/㎡)	
料金表A	0㎡から 18㎡まで	876.70	207.03	200.16	6.87	
料金表B	18㎡を超え139㎡まで	1,483.90	174.04	167.17	6.87	
料金表C	139㎡を超える場合	1,985.50	170.43	163.56	6.87	

(注)各月のご使用量に応じて、A~Cの各料金が適用されます。

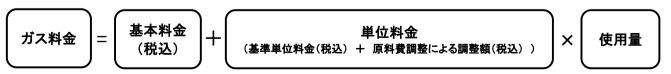
○標準家庭における影響

(消費税込)

1ヶ月のご使用量	3月のガス料金	2月のガス料金	影響額
15 ㎡	3,982 円	3,879 円	+103 円

(注)標準家庭のガス使用量は、平成23年度の平均使用量実績に基づき算定しています。

*ガス料金の計算方法



(円未満切り捨て)

<参考資料>

1.平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9788 + プロパン平均価格 × 0.0233

80,420 (円/t) × 0.9788 + 92,220 (円/t) × 0.0233

= 80,860_(円/t)(10円未満四捨五入)

⇒ 80,240 (円/t) <u>※上限値</u>

■原料価格の動向

(円/t)

	2021年10月~2021年12月 (3月検針分)	2021年9月~2021年11月 (2月検針分)	基準平均原料価格
平均原料価格	80,240	72,480	50,150
LNG平均価格	80,420	71,950	
プロパン平均価格	92,220	88,170	

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格

= 80,240 (円/t) - 50,150 (円/t)

= 30,000 (円/t)(100円未満切捨て)

2.単位料金の調整について

<単位料金の算出式>

単位料金 = 基準単位料金 + 単位料金調整額

単位料金調整額 = 0.081 (円/m²) × 原料価格変動額 / 100 (円/t) × (1+消費税率)

= 0.081 (円/m³) × 30,000 (円/t) / 100 (円/t) × 1.1

= 26.73 (円/㎡) 小数点第3位切捨て

(※)原料価格変動額100円/tにつき、1㎡あたり0.081円調整します

(円/m³)

	基準単位料金	単位料金調整額	3月単位料金
料金表A	180.30		207.03
料金表B	147.31	26.73	174.04
料金表C	143.70		170.43

(消費税込)

【原料費調整制度の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(50,150円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、プロパンの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1 ㎡あたり0.081円単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、プロパンとも貿易統計実績によります。
- 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が80,240円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は80,240円としてガス料金の調整を行います。